

魚 類 養 殖 指 導 IX

新 里 勝 也

1. 概 要

平成6年度の魚類養殖指導は、稚魚の網入れ指導に始まり、魚病対策等の技術面での指導及び出荷時の在庫調整等の連携、販売先の斡旋等の流通面の指導を中心に実施した。

指導の方法としては、より効率的に行うため勉強会を実施するなど継続的に情報提供を行った。

さらに定期的に巡回指導し、個別指導、交流会、情報交換会等を実施した。

また、魚類養殖に対する関心は高く、それぞれの情報を相互に活用するべく、努めて漁協、団体、市町村、民間業者等を抱き込んだ展開を念頭に起きながら実施した。

2. 勉強会実施内容

(1) 羽地漁協大宜味魚介類養殖生産組合(メンバー8名(生産者5、漁協1、村1、流通業者1)、オブザーバー数名)

① 平成6年5月18日(通算第16回)

- ・ヤイトハタ測定及びH5試験報告
- ・H6マダイ種苗導入と販売計画について

② 平成6年8月10日(第17回)

- ・ヤイトハタ測定
- ・マダイ出荷について
- ・スジアラ試験用種苗導入について

③ 平成7年2月13日(第18回)

- ・ヤイトハタ移動及び測定
- ・香港の活魚事情について
- ・H5チャイロマルハタ身質調査結果及び香港出荷検討
- ・H7マダイ等種苗の検討

(2) 沖縄市漁協(生産者4名、漁協1名、市2名)

① 平成6年11月22日

- ・県内各地区の状況について
- ・当地区における可能性について

② 平成7年3月27日

- ・予定箇所調査
- ・県内の魚類養殖の概況
- ・沖縄市の戦略について

(3) 糸満漁協(平成7年2月7日、生産者等20名)

- ・香港の活魚事情について

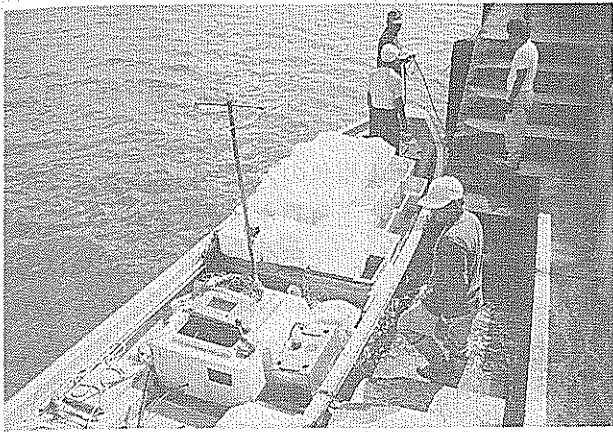
(4) 魚類養殖関係者(平成7年2月23日、生産者、漁協・市町村・民間職員等23名)

- ・香港の活魚事情について

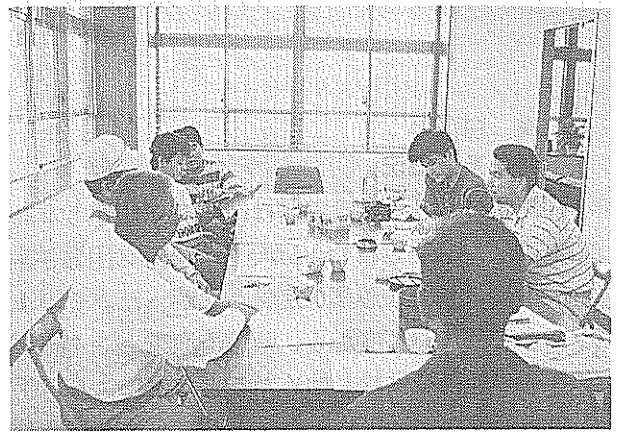
3. 情報交換会(平成7年3月2日)

本部漁協にて、参加者、7地区37名

- ・魚病対策の基本について(普及所、多和田真周普及員)
- ・香港の活魚事情(普及所、新里勝也普及員)
- ・各地区の状況報告(生産、販売、問題点等)
- ・養殖共済について(共済組合、照喜名朝正課長)
- ・施設見学(本部漁協養殖場)



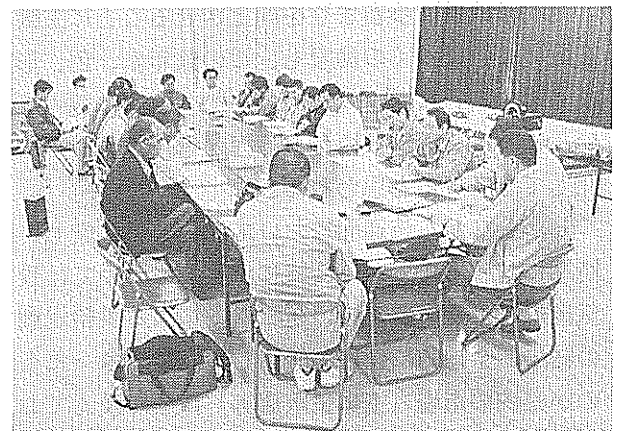
平成 6 年 4 月、マダイ種苗網入れ指導
(糸満漁協)



平成 6 年 11 月、沖縄市漁協勉強会



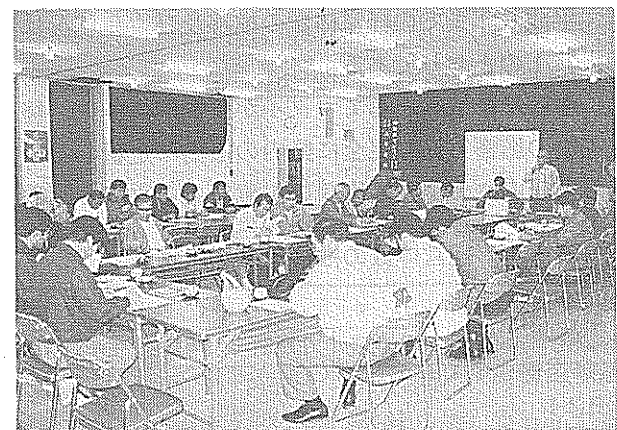
平成 6 年 7 月、ハマフエフキ種苗網入れ指導
(糸満漁協)



平成 7 年 2 月、糸満漁協勉強会



今帰仁村漁協養殖場



平成 7 年 3 月、情報交換会
(本部漁協にて)